統合ソフトウェア　操作説明書（基本要素）

目次

統合ソフトウェア　操作説明書（基本要素）.....1
はじめに.....2
　商標および登録商標について.....2
　本ファイルの記載について.....2
　本ソフトウェアの概要.....3
　動作環境.....4
　サポート対象デバイス.....5
　ネットワーク／セキュリティに関するお願い.....7
　デバイスとの接続に関する制約事項.....7
ソフトウェアのインストール.....8
　自動追尾ソフトウェアがインストールされている PC の注意事項.....8
　インストール時の注意事項.....8
　新しいバージョンにアップデートインストールを行う場合.....9
　ソフトウェアのインストール手順.....12
　ソフトウェアのアンインストール手順.....15
ソフトウェアの起動と終了.....18
　ソフトウェアの起動.....18
　ソフトウェアの終了.....19
ソフトウェアの利用の流れ.....20
　管理用ウィンドウについて.....20
　操作用 GUI を表示する.....23
　管理者アカウントの登録.....25
　ログイン操作.....26
　デバイスの登録.....27
　デバイスの操作.....27
画面の説明.....28
　基本の画面構成.....28
管理ツール.....31
　本ソフトウェアの動作ログ取得.....31
本製品に関するソフトウェア情報.....33

はじめに

商標および登録商標について

•Microsoft ®、Windows ®、Windows ® 10、Windows ® 11 および Microsoft Edge ®は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
•Apple、Mac、macOS、iPadOS、iPhone、iPad、Safari は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標です。 iPhone の商標はアイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
•Android™、Chrome™ブラウザは Google LLC の商標です。
•Intel ®、Intel ® Core™は、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
•その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

本ファイルの記載について

・本ファイル内のイラストや画面表示は、実際と異なる場合があります。
・本ファイルでは、パーソナルコンピューターを「PC」と記載しています。

本ソフトウェアの概要

・本ソフトウェアは、当社製の各種ソフトウェアを統合するソフトウェアプラットフォームです。無償機能並びに有償機能があり（随時提供予定)、各機能を単機能で使用するだけでなく、組み合わせることでより効率化された使いやすいオペレーションを実現することが可能となります。

・本ソフトウェアをインストールするとソフトウェアプラットフォームと同時に以下の無償機能が利用可能となります。

- Device Manager 機能（デバイスを管理するための機能）
  - デバイスの登録／編集／削除
  - デバイスの情報表示
  - デバイスの電源管理
  - ネットワーク上のカメラの自動検出
  - カメラのネットワーク設定
  - カメラのファームウェアアップデート
  - カメラの管理者一括登録
  - カメラの NDI|HX／SMPTE ST 2110 アクティベーション
- PTZ Control 制御機能（リモートカメラ制御機能）
  - カメラの Pan/Tilt/Zoom 制御
  - カメラのプリセット登録／呼び出し／削除、プリセット速度設定
  - カメラの画質調整
  - 自動追尾機能制御(対応の自動追尾機能内蔵カメラのみ)
  - カメラの Power ON／Standby 制御

・ソフトウェア上で有償機能のアクティベーションを行うことで有償機能を使用することが可能となります。

・無償機能、有償機能すべてがサーバー運用に対応しているため、同一ネットワーク上の端末の Web ブラウザで GUI を表示して操作を行うことが可能です。

・本ソフトウェアの機能を制御するための外部 API を用意。外部システムと連携したより効率的なシステム構築が可能です。　※ソフトウェアアップデートで提供予定

動作環境

本ソフトウェアを使用するには以下の環境が必要です。

■インストール PC

・OS

Windows Server 2022

Windows 11

Windows 10 64bit (バージョン 21H2 以降)

・ハードウェア

CPU：Intel Core 第 7 世代（Kaby Lake）以降

メモリ：8GB 以上

ディスプレイ：1920x1080 以上

ストレージ：2GB 以上の空き容量

・ソフトウェア

Web ブラウザ：Microsoft Edge, Google Chrome *

※インストール PC のハードウェア環境は無償機能を使用するときのものです。
有償機能を使用するときのハードウェア環境は、各有償機能の説明書に記載の動作環境を参照ください。

※インストール PC の Windows OS は C ドライブにインストールされた状態でご使用ください。

■クライアント（ブラウズ端末）

・OS

Windows 11

Windows 10 64bit (バージョン 21H2 以降)

macOS 13 (Ventura) 以降

iPadOS 16 以降

・ハードウェア

ディスプレイ：1920x1080 以上（iPad 以外）

・ソフトウェア

Web ブラウザ：Microsoft Edge, Google Chrome *

<NOTE>

* Google Chrome を使用される場合は、Google LLC のサイトからダウンロードして、インストールしてください。

サポート対象デバイス

本ソフトウェアがサポートするデバイスは以下の製品です（2026 年 2 月時点）

■パナソニック製　ネットワーク対応カメラ

リモートカメラ

・AW-UE160/AW-UE163
・AW-UE150A/AW-UE158/ AW-UE148
・AW-UE150/AW-UE155/AW-UN145
・AW-UE100
・AW-UE80/AW-UE83
・AW-UE70/AW-UN70/AW-UE65/AW-UE63
・AW-UE50/AW-UE53
・AW-UE40/AW-UE43
・AW-UE30
・AW-UE20
・AW-UE4
・AW-HE145
・AW-HE70/AW-HN70
・AW-HE65/AW-HN65/AW-HE58/AW-HE48
・AW-HE42/AW-HE68/AW-HE75
・AW-HE40/AW-HN40/AW-HE38/AW-HN38/AW-HE35
・AW-HE20
・AW-UR100
・AW-HR140

ボックススタイルカメラ

・AW-UB10
・AW-UB50

スタジオカメラ　※

AK-UCX100
AK-UC4000
AK-UC4000B
AK-UC3300

カメラコントロールユニット（CCU）　※

AK-UCU700
AK-UCU600

マルチパーパスカメラ　※

AK-UBX100

※Device Manager 機能と Image Adjust Pro 機能でのみサポートしています。
各機能の詳細はそれぞれの操作説明書を参照ください。

<NOTE>

・最新の対応機種は下記 Web サイトの本ソフトウェア商品ページをご確認ください。

日本語：https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav

英語：https://pro-av.panasonic.net/en/

・デバイスのファームウェアは最新版にしてご使用ください。ファームウェアは上記 Web サイトからダウンロードすることができます。

・上記対応機種のうち、一部の機種は地域によっては販売されていない場合があります。

ネットワーク／セキュリティに関するお願い

本ソフトウェアは PC をネットワークに接続して使用するため、以下のような被害を受けることが考えられます。

・PC を経由した情報の漏洩や流出
・悪意を持った第三者による PC／本ソフトウェアの不正操作
・悪意を持った第三者による PC／本ソフトウェアの妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。これらの被害について当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

・ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で PC を使用する。
・PC 上でコンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に行われていることを確認する。
・PC を不正な攻撃から守るため、PC にはパスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限する。
・PC は第三者が容易にアクセスできる場所には設置せず、盗難防止対策を実施する。

デバイスとの接続に関する制約事項

・サーバーPC とリモートカメラ等のデバイスを接続するネットワークは、同一セグメントを推奨します。セグメントが異なる接続を行う場合は、ネットワーク機器固有の設定などに依存した事象が起きる可能性がありますので、運用開始前に十分確認を行ってください。
・サーバーPC とリモートカメラ等のデバイスを接続するネットワークは有線接続を推奨します。無線接続の場合、本ソフトウェアの画面の描画が遅くなったり、操作に対する反応が遅くなったりすることがあります。
・リモートカメラは HTTP 接続設定で接続してください。HTTPS 接続はサポートしていません。

ソフトウェアのインストール

自動追尾ソフトウェアがインストールされている PC の注意事項

本ソフトウェアは自動追尾ソフトウェア AW-SF200 / AW-SF100 Web ver. がインストールされている PC 上では実行できません（AW-SF100 Standalone ver.は問題ありません）。
自動追尾ソフトウェア AW-SF200 / AW-SF100 Web ver.がインストールされている PC に本ソフトウェアをインストールする場合は、以下の手順で自動追尾ソフトウェアをアンインストールしてください。

1. Windows の[アプリと機能]画面を開きます。
   [スタート] を選択し、[設定] ＞[アプリ ＞アプリ&機能] を選択
2. [Node.js] を選択してアンインストールします。
3. [PostgreSQL 11] を選択してアンインストールします。
4. [Panasonic Auto Tracking Server] を選択してアンインストールします。
5. PC を再起動します。

インストール時の注意事項

・インストールには管理者(Administrator)権限が必要です。管理者権限を持つ Windows アカウントでインストールを行ってください。
・インストール中に Windows のユーザーアカウント制御の確認が表示された場合は「はい」をクリックして処理を続行してください。

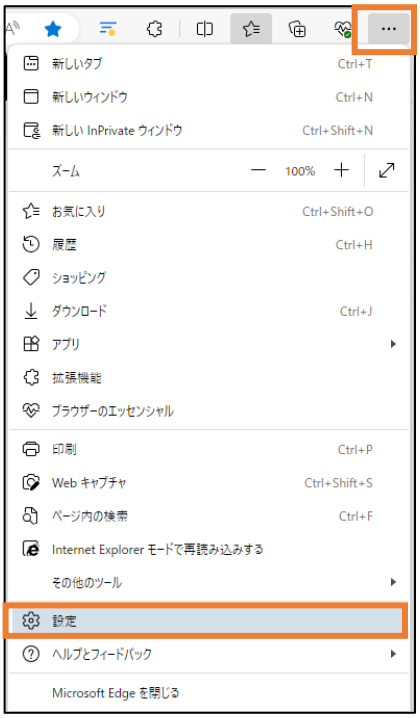
新しいバージョンにアップデートインストールを行う場合

本ソフトウェアを新しいバージョンにアップデートインストールする場合、古いバージョンの事前アンインストールは不要です。新しいバージョンのインストールを行うと自動でソフトウェアが更新されます。

アップデートインストール後、新しいバージョンのソフトウェアを使用する前に Web ブラウザのキャッシュクリアを行ってください。キャッシュクリアを行わずに新しいバージョンを実行した場合、誤動作が発生することがあります。

■Microsoft Edge のキャッシュクリア手順

1. Microsoft Edge 画面右上のメニューボタン…をクリックして「設定」を選択します。



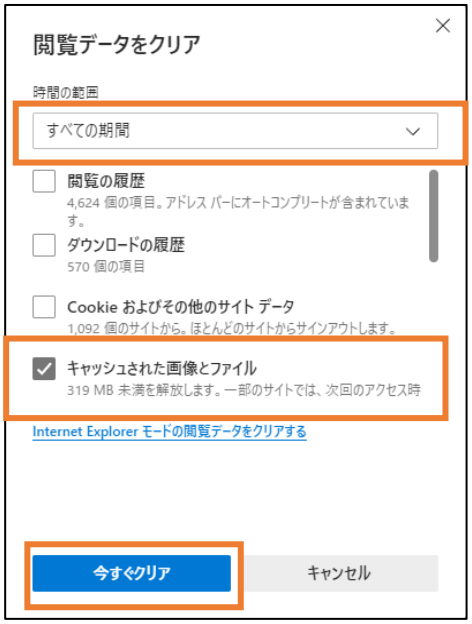
2. 設定画面で「プライバシー、検索、サービス」→「閲覧履歴データをクリア」の「クリアするデータの選択」をクリックします。

3. 「閲覧データをクリア」画面で

時間の範囲：すべての期間

キャッシュされた画像とファイル：チェックを ON

に設定して「今すぐクリア」ボタンをクリックすると、キャッシュクリアが行われます。

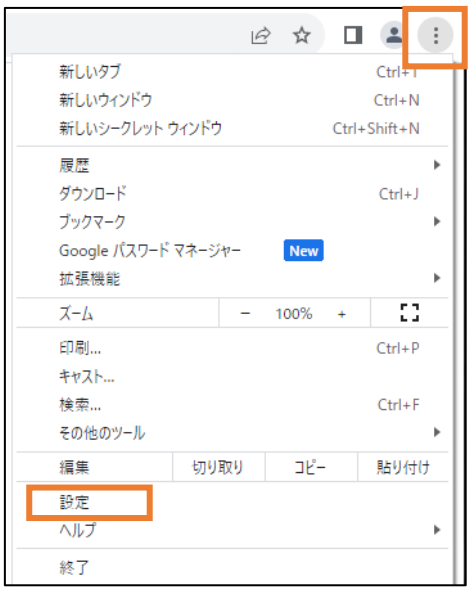


<NOTE>

・上記キャッシュクリアの手順は Microsoft Edge のバージョン 120.0.2210.121 の場合の手順です。
Microsoft Edge のバージョンによっては、表示などが異なる場合があります。

■Google Chrome のキャッシュクリア手順

1. Google Chrome 画面右上のメニューボタン ⋮ をクリックして「設定」を選択します。



2. Google Chrome の設定画面で「プライバシーとセキュリティ」→「閲覧履歴データの削除」を選択します。

3. 「閲覧履歴データの削除」画面で

期間：全期間を選択

キャッシュされた画像とファイル：チェックを ON

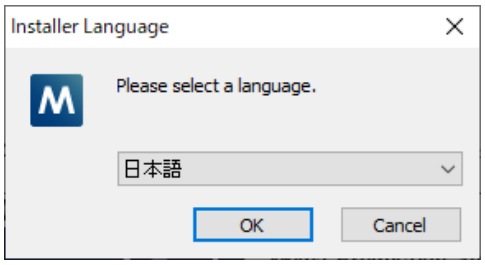
に設定して「データを削除」ボタンをクリックすると、キャッシュクリアが行われます。

<NOTE>

・上記キャッシュクリアの手順は Google Chrome のバージョン 119.0.6045.123 の場合の手順です。
Google Chrome のバージョンによっては、表示などが異なる場合があります。

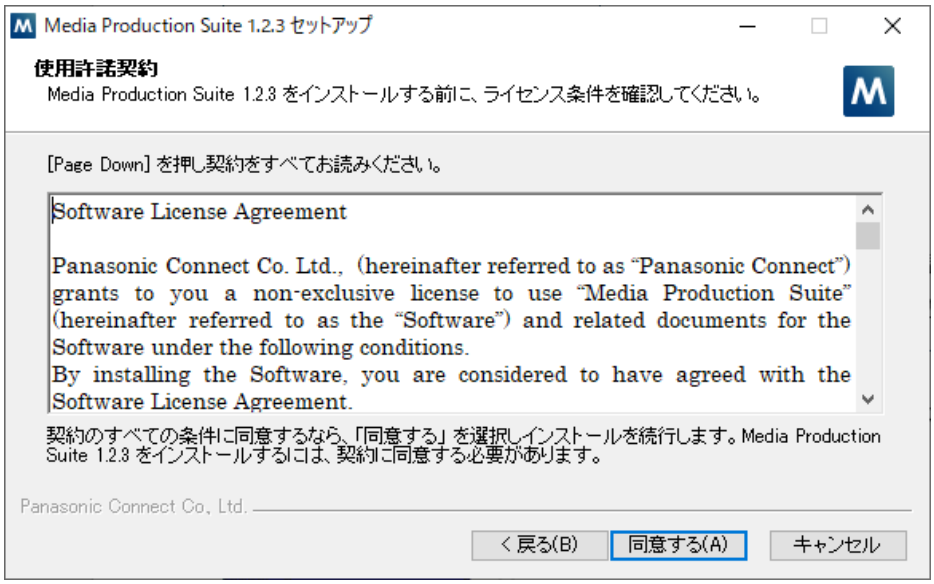
ソフトウェアのインストール手順

1. Setup.exe をダブルクリックするとインストーラーが実行されます。使用する言語を選択して「OK」をクリックします。

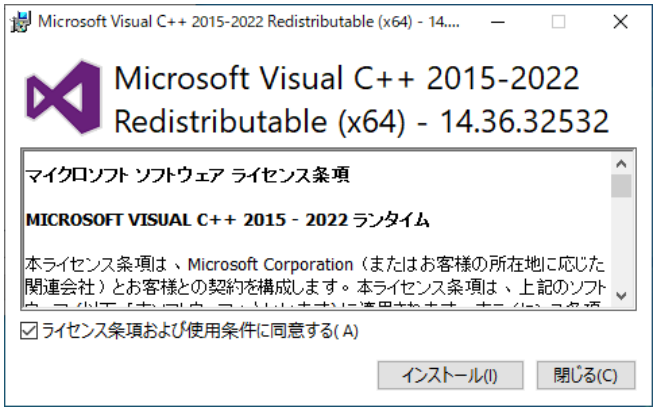


2. セットアップへようこその画面が表示されます。バージョンに問題ないか、他のアプリケーションが立ち上がっていないか確認し問題なければ「次へ」ボタンをクリックして処理を続行します。

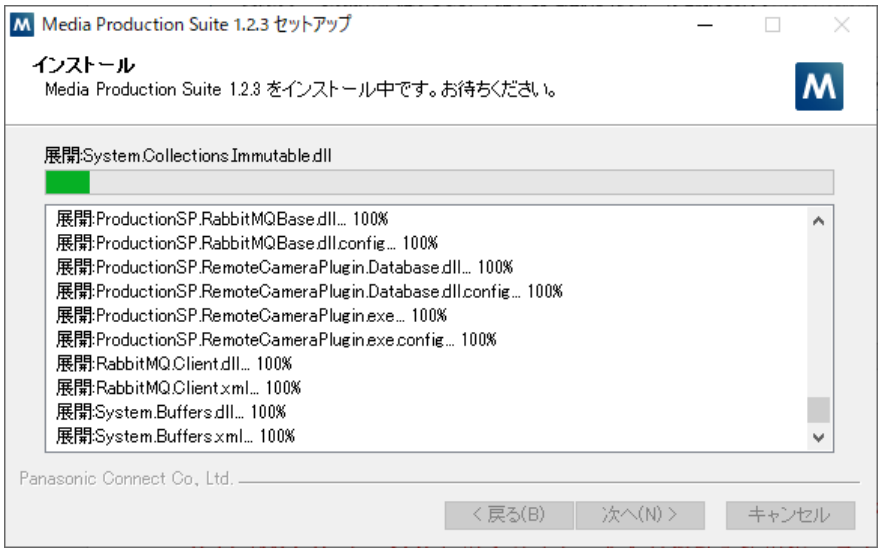
3. 使用許諾書が表示されますので、内容をご確認頂き、問題がない場合は「同意する」をクリックします。



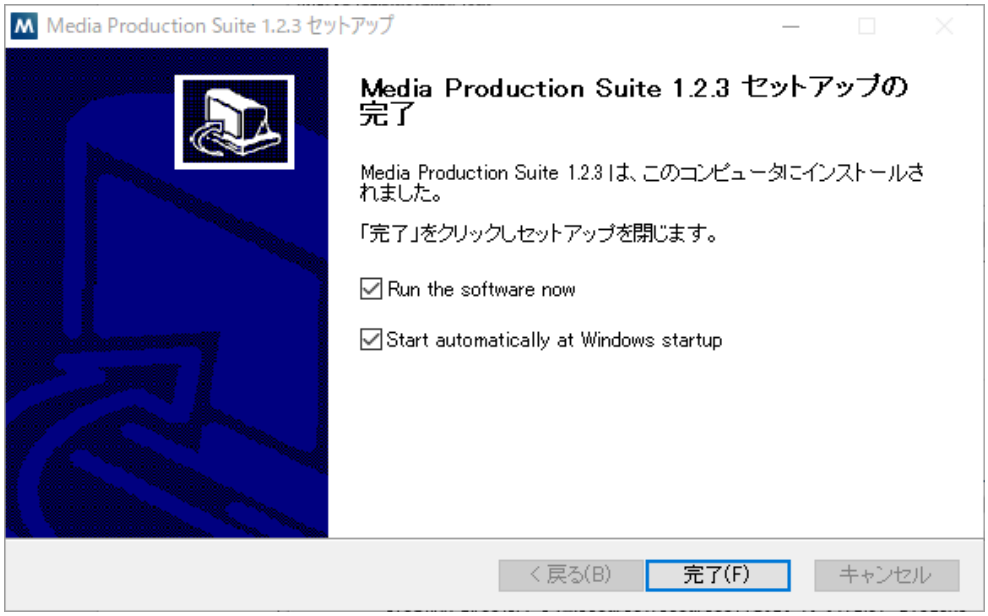
4. ソフトウェアの実行に必要なランタイムのインストールが行われます。
PC の状態によっては、ランタイムインストール後に PC の再起動が発生する場合があります。
PC が再起動した場合は、再起動後にインストーラーを再度実行してください。



5. インストールが実行されます。
本ソフトウェアを初めてインストールする場合は実行に必要なソフトウェア（Erlang OTP, RabbitMQ, PostgreSQL）のインストールも行われますので、完了まで時間を要する場合があります。
また、ファイルのコピーなどでインストールが停止したように見える場合がありますが、完了までお待ちください。



6. インストール完了後、以下の画面が表示されます。



「Run the software now」のチェックで、インストール完了後に本ソフトウェアを起動するかどうかを選択します。

チェック ON：インストール完了後、本ソフトウェアが起動します。

チェック OFF：インストール完了後、本ソフトウェアを起動しません。

「Start automatically at Windows startup」のチェックで、Windows へログイン時に本ソフトウェアが自動起動するかどうかを選択します。

チェック ON：Windows へログイン時に本ソフトウェアが自動起動します。※

チェック OFF：Windows へログイン時に本ソフトウェアが自動起動しません。

※自動起動するのは本ソフトウェアをインストールしたアカウントがログインしたときのみとなります。

本ソフトウェアが自動起動しない場合、Windows 起動後、本書の「ソフトウェアの起動」に記載の手順に従ってソフトウェアを手動で起動する必要があります。

「完了」ボタンをクリックするとインストールを終了します。

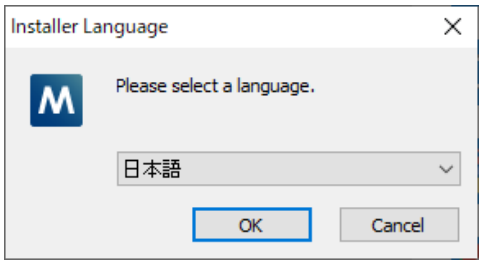
「Run the software now」のチェックが ON のときは、インストール完了後、Media Production Suite ソフトウェアが起動され、タスクトレイ上にアイコンが、デスクトップ上に管理用ウィンドウが表示されます。

以降の操作は「ソフトウェアの起動と終了」の項目を参照ください。

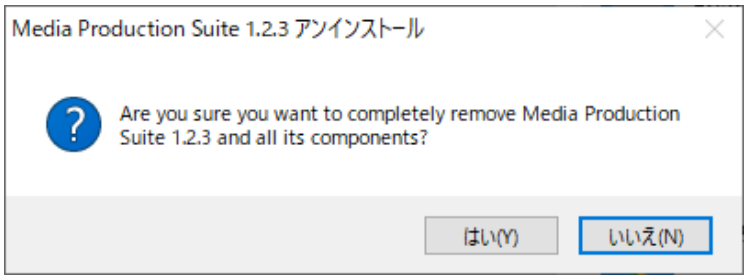
ソフトウェアのアンインストール手順

■Windows10、Windows Server 2022 の場合

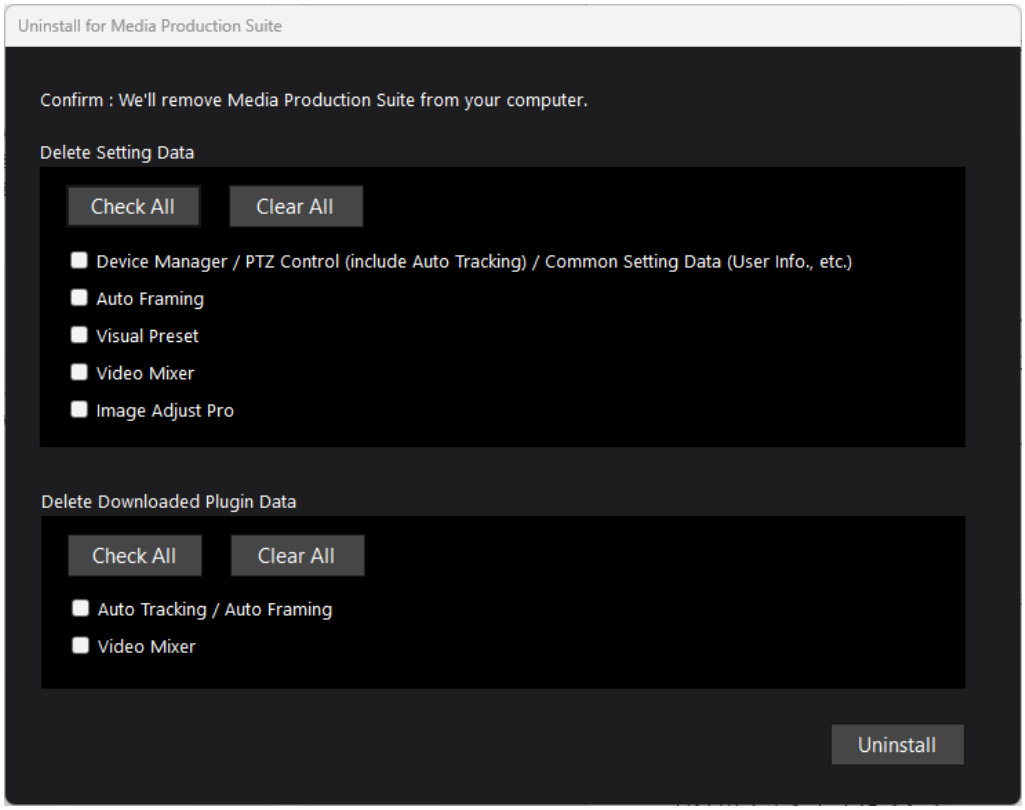
1. Windows タスクバーの Windows アイコンを右クリックして、表示されるメニュー内の「アプリと機能」を選択します。
2. 「アプリと機能」の画面で表示されるアプリの中から「Media Production Suite *.*.* (*.*.*の部分はインストールされたアプリのバージョン)」を選択して「アンインストール」をクリックします。
3. 「このアプリとその関連情報がアンインストールされます」の確認メッセージが表示されるので「アンインストール」をクリックします。
4. uninst.exe の実行確認画面が表示された場合は「はい」を選択します。
5. 言語確認画面が表示されるので、任意の言語を選択して「OK」をクリックします。



6. アンインストールの確認画面が表示されるので「はい」をクリックします。



7. アンインストール時のデータ消去内容の確認画面が表示されます。



[Delete Setting Data]

・Device Manager/PTZ Control(include Auto Tracking)/Common Setting Data(User Info. Etc.)

チェックを ON にすると、以下の設定データを消去します。

- Device Manager 機能で登録したデバイスの情報
- PTZ Control 機能の動作設定（自動追尾の動作設定など）
- 本ソフトウェアのアカウント情報
- 登録した顔データの情報

・Auto Framing

チェックを ON にすると、Auto Framing 機能の以下の設定データを消去します。

- ターゲットフレーム（設定した構図）のデータ
- Auto Start Area、Mask Area の設定
- 詳細設定などの設定データ

・Visual Preset

チェックを ON にすると、Visual Preset プラグインの以下の設定データを消去します。

- 登録した背景画像
- 登録したカメラアイコン
- 登録した Call Trigger アイコン

・Video Mixer

チェックを ON にすると、Video Mixer プラグインの以下の設定データを消去します。

- Multi View のレイアウト、ビューの設定
- I/O Setting のシステムフォーマット、Input 設定、Output 設定
- Media 画面で登録した動画ファイル／静止画ファイル
- Scene 画面で登録した Scene
- AI Capture 画面で登録した AI Keying Background 画像

・Image Adjust Pro

チェックを ON にすると、Image Adjust Pro プラグインの設定データを消去します。

[Delete Downloaded Plugin Data]

・Auto Tracking / Auto Framing

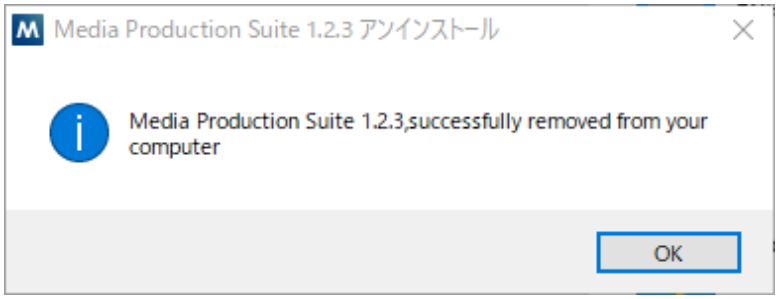
チェックを ON にすると、ダウンロード済みの Auto Tracking プラグインと Advanced Auto Framing プラグインの実行用データをすべて消去します。

・Video Mixer

チェックを ON にすると、ダウンロード済みの Video Mixer プラグイン実行用データをすべて消去します。

*アクティベーションした有償プラグインのライセンスデータは消去されません。

8. 確認画面で[Uninstall]ボタンをクリックするとアンインストールが実行されます。
以下の画面が表示されればアンインストール完了です。



■Windows11 の場合

1. Windows タスクバーの Windows アイコンを右クリックして、表示されるメニュー内の「インストールされているアプリ」を選択します。
2. 「インストールされているアプリ」の画面で表示されるアプリの中から「Media Production Suite *.*.*（*.*.*の部分はインストールされたアプリのバージョン）」を選択して「アンインストール」をクリックします。
3. 以降の手順は上記「Windows10, Windows Server 2022 の場合」の手順 3.以降と同様です。

<NOTE>

・ライセンスデータを別 PC に移動したい場合は、本ソフトウェアがインストールされている状態でディアクティベーションの手続きを行う必要があります。
ディアクティベーションの手続きについては、Information 機能の操作説明書の「ライセンスのディアクティベーションを行う」を参照ください。

ソフトウェアの起動と終了

ソフトウェアの起動

「ソフトウェアのインストール手順」の手順 6.で「Start automatically at Windows startup」のチェックを ON にした場合、本ソフトウェアをインストールしたアカウントが Windows にログインしたとき、本ソフトウェアが自動起動されます。

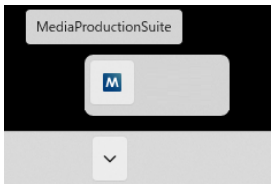
本ソフトウェアが自動起動しない場合は、以下の手順のいずれかで起動を行ってください。

・Windows スタートメニューの「Media Production Suite」ショートカットを選択
・デスクトップの「Media Production Suite」ショートカットをダブルクリック

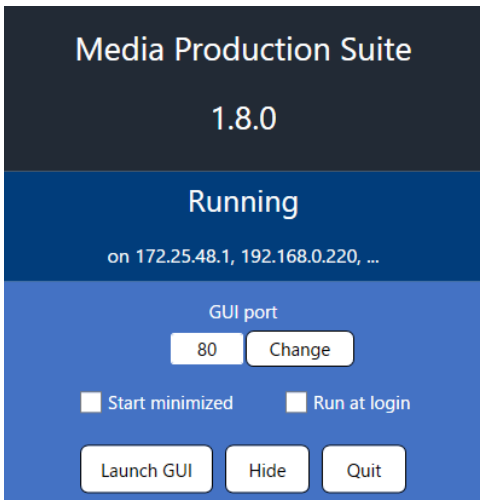
ソフトウェア起動時に Windows 管理者権限の確認画面が表示されたときは、OK をクリックして起動を許可してください。

ソフトウェアが起動すると Windows のタスクトレイに本ソフトウェアのアイコンが、デスクトップ上に管理用ウィンドウが表示されます（管理用ウィンドウの表示を ON にしているとき）。

・タスクトレイのアイコン表示



・管理用ウィンドウ

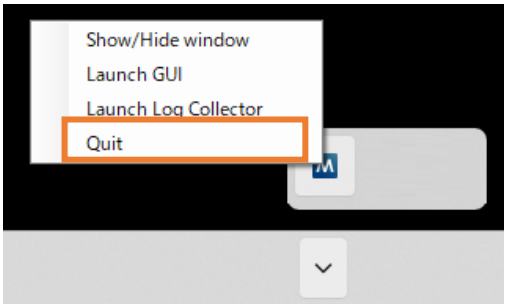


管理用ウィンドウの操作、操作用 GUI の表示および操作方法は「ソフトウェアの利用の流れ」の項目を参照ください。

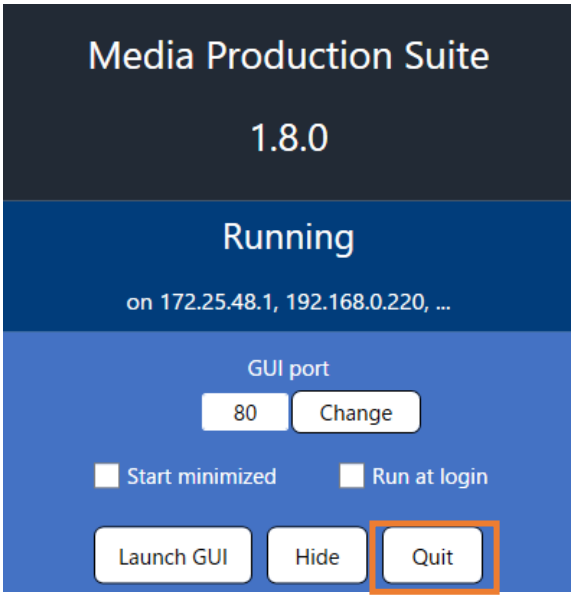
ソフトウェアの終了

本ソフトウェアを終了する場合は以下のいずれかの操作を行ってください。

・Windows タスクトレイの本ソフトウェアのアイコンを右クリックしてメニューを表示し、[Quit]を選択



・本ソフトウェア管理用ウィンドウの「Quit」ボタンをクリック



ソフトウェアの利用の流れ

管理用ウィンドウについて

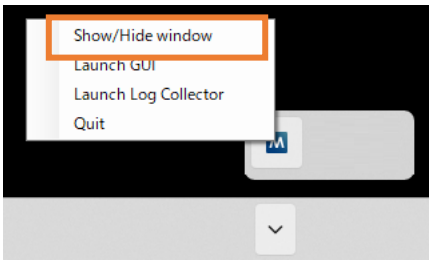
初期状態では、本ソフトウェアの起動時、デスクトップ上に管理用ウィンドウが表示されます。
管理用ウィンドウでは以下のことを行うことができます。

・ソフトウェアのバージョン／実行状態の確認
・使用するポート番号の設定、起動時の動作設定
・操作用 GUI の表示
・ソフトウェアの終了

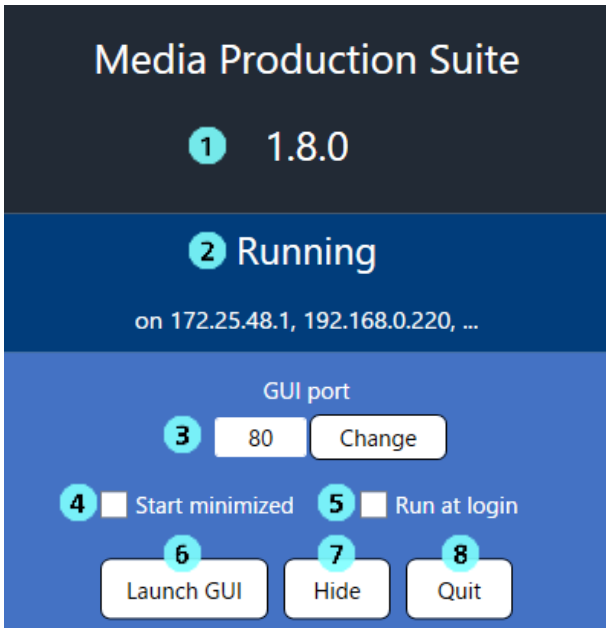
■管理用ウィンドウの表示手順

管理用ウィンドウが表示されていない場合は、以下の操作で表示を行うことができます。

・Windows タスクトレイの本ソフトウェアのアイコンを右クリックしてメニューを表示し、[Show/Hide window]を選択



■管理用ウィンドウの説明



1. バージョン情報表示欄
   本ソフトウェアのバージョンを表示します。

2.　ステータス表示欄

本ソフトウェアの実行状態を表示します。

・正常動作時の表示

ステータス表示	説明
Starting Database Check	ソフトウェア起動処理中 （データベースサービスに接続中）
Starting Receive Message	ソフトウェア起動処理中 （メッセージサービスに接続中）
Starting Activate Plugins	ソフトウェア起動処理中 （内部モジュール起動動作中）
Running on *.*.*.*, *.*.*.*	ソフトウェアが正常に動作中 on *.*.*.* の部分には PC のネットワークアダプタの IP アドレスが表示されます。

・異常動作時の表示

ステータス表示	説明
Error GUI port is not available	操作用 GUI のポート番号が使用できないため、Apache サービスが起動できない状態です。 「3.　操作用 GUI のポート番号設定欄」で、ポート番号を変更してください。
Starting Database service	本ソフトウェアの実行に必要なデータベースサービス（PostgreSQL）が起動していなかったため、起動を行っている状態です。 正常に起動できた場合、正常動作に移行します。何らかの原因で正常に起動できなかった場合、下記 Fail 表示になります。
Starting Message service	本ソフトウェアの実行に必要なメッセージサービス（RabbitMQ）が起動していなかったため、起動を行っている状態です。 正常に起動できた場合、正常動作に移行します。何らかの原因で正常に起動できなかった場合、下記 Fail 表示になります。
Starting Receive Message *	本ソフトウェアの実行に必要なメッセージサービス（RabbitMQ）の起動に失敗したため、リトライを行っている状態です。末尾の*にはリトライ回数が表示されます。 正常に起動できた場合、正常動作に移行します。何らかの原因で正常に起動できなかった場合、下記 Fail 表示になります。
Starting GUI service	本ソフトウェアの実行に必要な Apache サービスが起動していなかったため、起動を行っている状態です。 正常に起動できた場合、正常動作に移行します。何らかの原因で正常に起動できなかった場合、下記 Fail 表示になります。
Fail *******	何らかの原因で本ソフトウェアの動作に異常が発生している状態です。

	本書の「本ソフトウェアの動作ログ取得」を参照して動作ログを取得し、弊社サービス部門にお問い合わせください。

3. 操作用 GUI のポート番号設定欄

   Web ブラウザで操作用 GUI を表示するときに使用するポート番号を設定します。

   数値入力欄にポート番号を入力して Change ボタンをクリックすると、ポート番号が設定されます。

   ＜NOTE＞

   以下のポート番号は使用できません。

   1337, 1338, 1437, 2000 ~ 2010, 5672, 8756, 10160, 15672, 20060

   上記以外にも、Web ブラウザの制限により使用できないポート番号があります。

   ポート番号が使用できない場合、Change ボタンをクリックしたときにステータス表示欄が Error 表示になりますので、他のポート番号に変更してください。

4. 管理用ウィンドウの表示設定欄

   本ソフトウェアの起動時に管理用ウィンドウを表示するかどうかを設定します。

   チェック ON：本ソフトウェアの起動時に管理用ウィンドウを表示しません。

   チェック OFF：本ソフトウェアの起動時に管理用ウィンドウを表示します。

5. Windows ログイン時の本ソフトウェアの自動起動設定欄

   Windows ログイン時に本ソフトウェアが自動起動するかどうかを選択します。

   チェック ON：Windows ログイン時に本ソフトウェアが自動起動します。

   チェック OFF：Windows ログイン時に本ソフトウェアが自動起動しません。

6. 操作用 GUI 表示ボタン

   ボタンをクリックすると、OS 既定の Web ブラウザで操作用 GUI を表示します。

7. 管理用ウィンドウ非表示ボタン

   ボタンをクリックすると、管理用ウィンドウを非表示にします。

8. ソフトウェア終了ボタン

   ボタンをクリックすると、本ソフトウェアを終了します。

操作用 GUI を表示する

本ソフトウェアに対する操作は、Web ブラウザ上に操作用 GUI を表示して行います。
インストール PC と同じネットワーク上であれば、別の PC から Web ブラウザを使用して操作用 GUI にアクセスして、リモートで操作を行うことも可能です。

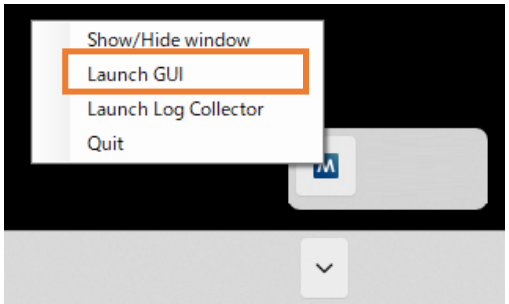
操作用 GUI の表示は以下の手順で行います。

■インストール PC の場合

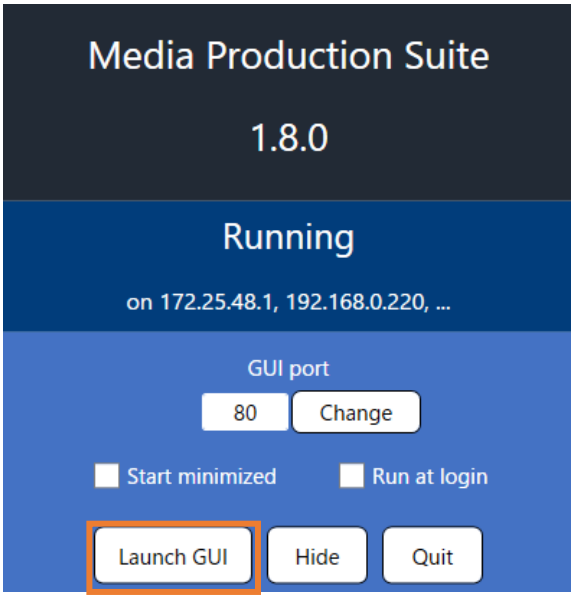
・OS 既定の Web ブラウザが Microsoft Edge もしくは Google Chrome のとき

以下のいずれかの操作で、OS 既定の Web ブラウザで操作用 GUI を表示します。

- Windows タスクトレイの本ソフトウェアのアイコンを右クリックしてメニューを表示し、「Launch GUI」を選択



- 本ソフトウェアの管理用ウィンドウの「Launch GUI」ボタンをクリック



・OS 既定の Web ブラウザが Microsoft Edge もしくは Google Chrome 以外のとき

1. Web ブラウザ（Microsoft Edge もしくは Google Chrome）を起動します。
2. Web ブラウザのアドレス欄に以下の URL を入力します。

   http://localhost/MediaProductionSuite/Base

   GUI port 番号が 80 以外に設定されている場合はポート番号の指定が必要です

（例：8080 の場合）http://localhost:8080/MediaProductionSuite/Base

※GUI 表示後、ログイン画面をブックマークなどに登録することを推奨します。

■クライアント PC の場合

1. Web ブラウザ（Microsoft Edge もしくは Google Chrome）を起動します。
2. Web ブラウザのアドレス欄に以下の URL を入力します。

http://[サーバーPC の IP アドレス]/MediaProductionSuite/Base/

（例： http://192.168.0.200/MediaProductionSuite/Base）

GUI port 番号が 80 以外に設定されている場合はポート番号の指定が必要です

（例：8080 の場合）http://192.168.0.200:8080/MediaProductionSuite/Base

※GUI 表示後、ログイン画面をブックマークなどに登録することを推奨します。

※Web ブラウザが正常に表示されない場合は「F5」キーを押して、画面表示の更新を行ってください。

本ソフトウェアのインストール後、初期状態で操作用 GUI を表示したときは本ソフトウェアの管理者アカウント登録画面が、管理者アカウント登録済の状態で操作用 GUI を表示したときは本ソフトウェアのログイン画面が表示されます。

管理者アカウント登録画面が表示されたとき：

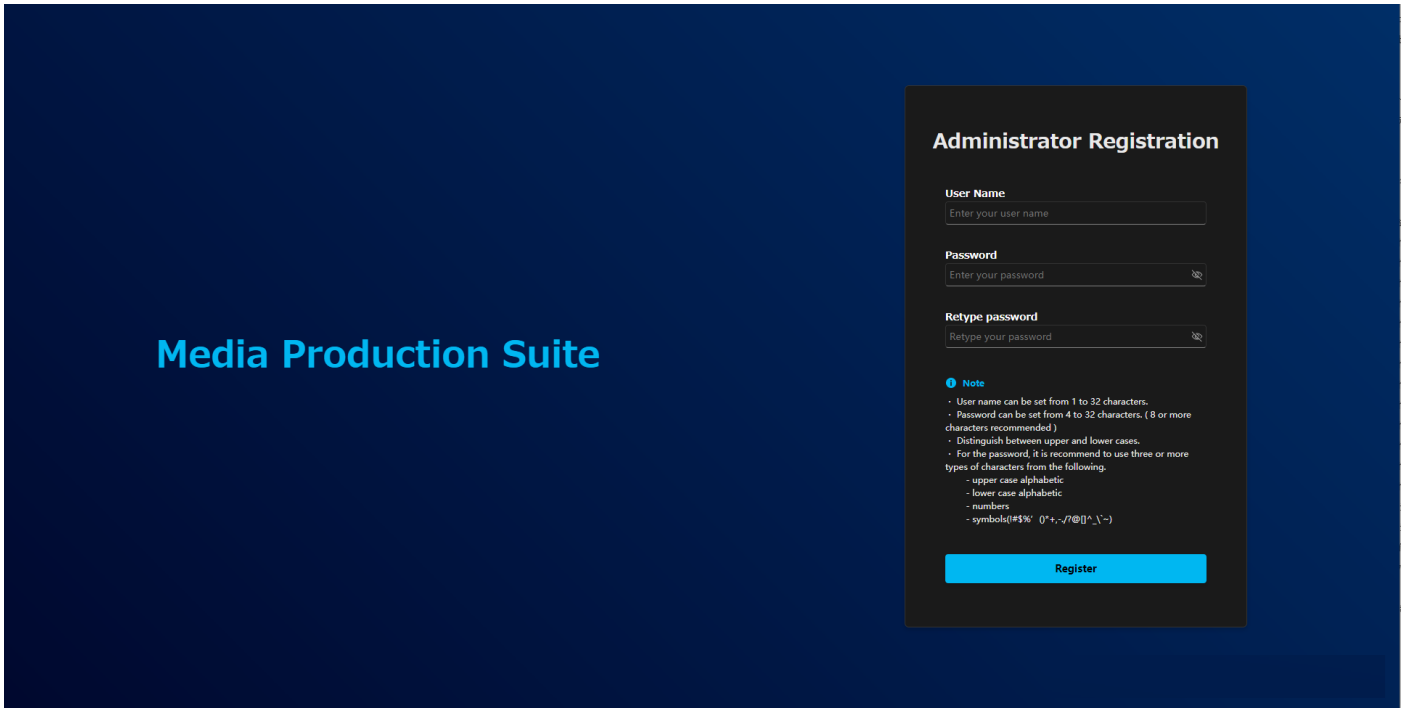
以降の「管理者アカウントの登録」の内容に従って管理者アカウントの登録を行ってください。

ログイン画面が表示されたとき：

以降の「ログイン操作」の内容に従ってログインを行ってください。

管理者アカウントの登録

本ソフトウェアのインストール後、初期状態で GUI を表示したときは本ソフトウェアの管理者アカウントの登録画面が表示されます。



以下の手順で管理者アカウントの登録を行ってください。

1. [User Name]欄にアカウント名を入力します。

   使用可能な文字

   ・アルファベット大文字

   ・アルファベット小文字

   ・数字

   ・特殊文字(~!@#$%^&*()_+¥|}{][<>.,/?` -’)

   文字数

   ・1 文字以上 32 文字以下

2. [Password] [Retype Password]欄にパスワードを入力します。

   使用可能な文字

   ・アルファベット大文字

   ・アルファベット小文字

   ・数字

   ・特殊文字(~!@#$%^&*()_+¥|}{][<>.,/?` -’)

   文字数

   ・4 文字以上 32 文字以下

セキュリティの観点から、パスワードは以下のルールに従って設定することを推奨します。

推奨ルール

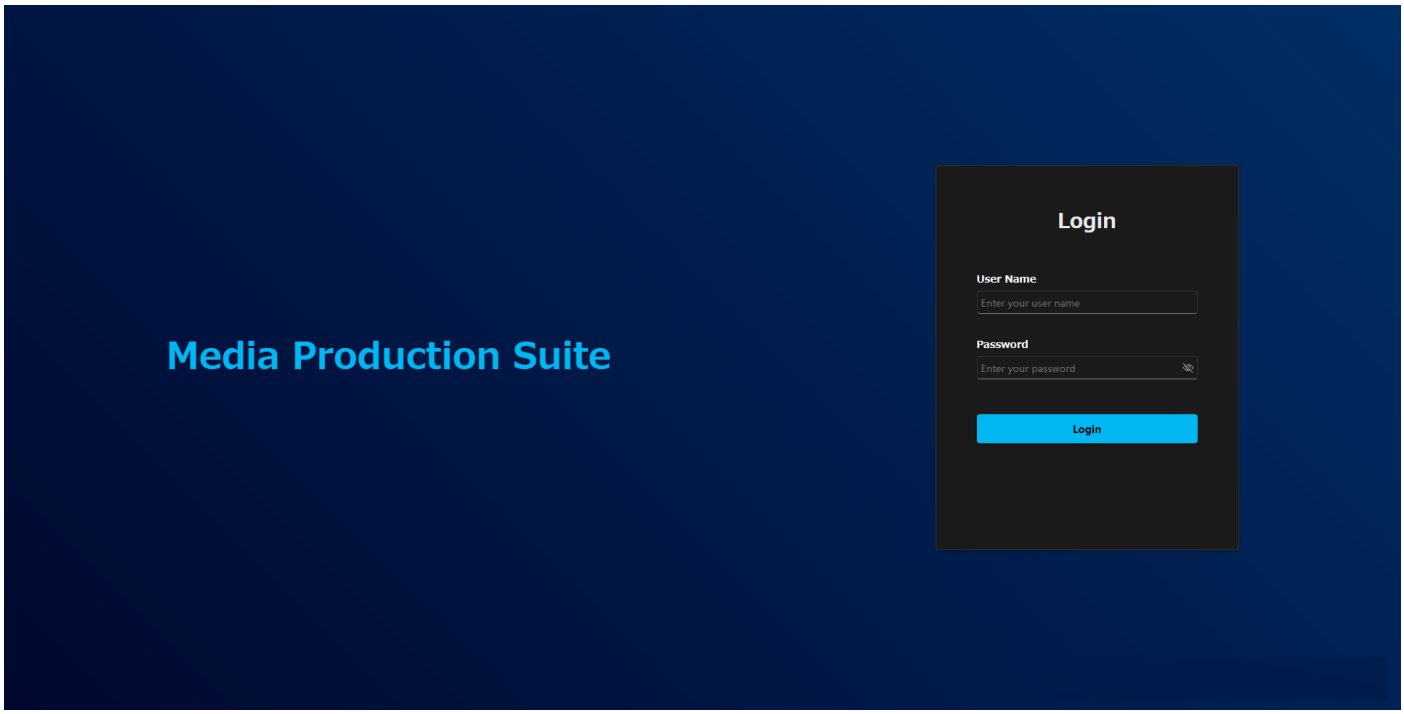
・上記 4 つの使用可能な文字種類から少なくとも 3 種類を含み、かつ長さが 8 文字以上

3. Register ボタンをクリックすると管理者アカウントの登録が行われます。
パスワードが上記推奨ルールを満たしていない場合、警告メッセージが表示されます。パスワードを変更する場合は[Cancel]ボタンをクリックしてパスワードを変更してください。セキュリティリスクを理解の上、設定を継続する場合は[OK]ボタンをクリックして設定を完了してください。

<NOTE>
・管理者アカウントは Administrator 権限のアカウントとして登録されます。
アカウントの情報は Setting 機能で変更を行うことができます。詳細は Setting 機能の操作説明書を参照してください。Setting 機能の操作説明書は[Help]ボタンをクリックして、メニューから[Setting]を選択すると表示されます。

ログイン操作

管理者アカウント登録済の状態で GUI を表示したときは本ソフトウェアのログイン画面が表示されます。
User Name 欄にアカウント名、Password 欄にパスワードを入力して[Login]ボタンをクリックするとログインが行われ、操作画面が表示されます。
操作画面については本書の「画面の説明」を参照してください。



デバイスの登録

本ソフトウェアでデバイスの操作を行うには、本ソフトウェアにデバイスを登録する必要があります。
デバイスの登録は Device Manager 機能内で行います。詳細は Device Manager 機能の操作説明書を参照してください。
Device Manager 機能の操作説明書は本ソフトウェアの[Help]ボタンをクリックして、メニューから[Device Manager]を選択すると表示されます。

デバイスの操作

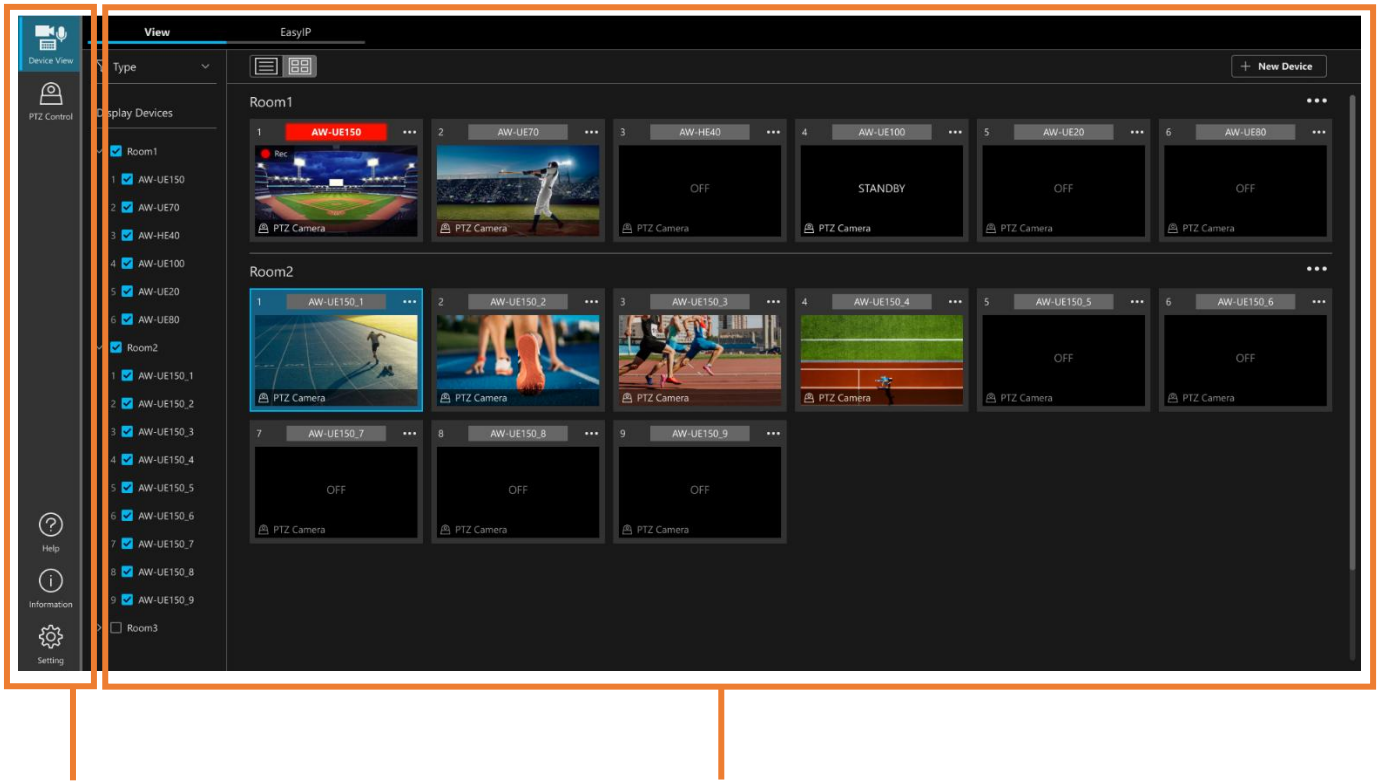
登録されたデバイスは本ソフトウェアから操作が可能となります。
無償のベースソフトウェアでは、リモートカメラを操作するための PTZ Control 機能が利用できます。
機能の詳細は PTZ Control 機能の操作説明書を参照してください。PTZ Control 機能の操作説明書は本ソフトウェアの[Help]ボタンをクリックして、メニューから[PTZ Control]を選択すると表示されます。

画面の説明

基本の画面構成

ここでは基本の画面構成のみ説明します。

各機能の画面については、各機能のボタン説明に記載の操作説明書を参照してください。



・操作画面エリア

機能選択エリアで選択された機能の操作画面が表示されます。

・機能選択エリア

1. メイン機能選択エリア

本ソフトウェアで利用できる機能がエリア内に[ボタン＋機能名]の形で表示されます。
ボタンをクリックすると操作画面がその機能の画面に切り替わります。
無償のベースソフトウェアがインストールされた状態では[Device Manager]と[PTZ Control]のボタンが表示され、機能が利用可能となっています。
また、対応するリモートカメラが存在する場合は[Auto Framing]のボタンも表示され、機能が利用できます。
有償プラグインのライセンスアクティベーションを行って新しい機能が利用可能となった場合、このエリアにその機能のボタンが追加表示されます。

・Device Manager ボタン

ボタンクリックで操作画面が Device Manager 機能の画面に切り替わります。
Device Manager 機能ではデバイスを一覧表示して管理を行う機能を提供します。操作画面からデバイスの登録／編集／削除、電源管理などを行うことができます。また、EasyIP Setup Tool Plus 機能も本機能内で利用することができます。
機能の詳細は[Help]ボタンのメニューで[Device Manager]を選択したときに表示される Device Manager 機能の操作説明書を参照してください。

・PTZ Control ボタン

ボタンクリックで操作画面が PTZ Control 機能の画面に切り替わります。
PTZ Control 機能ではリモートカメラの操作に特化した機能を提供します。操作画面からリモートカメラの Pan/Tilt/Zoom 制御、プリセット制御、画質調整などを行うことができます。
機能の詳細は[Help]ボタンのメニューで[PTZ Control]を選択したときに表示される PTZ Control 機能の操作説明書を参照してください。

・Auto Framing ボタン

ボタンクリックで操作画面が Auto Framing 機能の画面に切り替わります。
Auto Framing 機能では自動追尾機能を内蔵したリモートカメラと連携して高品位の自動追尾を行う機能を提供します。
機能の詳細は[Help]ボタンのメニューで[Auto Framing]を選択したときに表示される Auto Framing 機能の操作説明書を参照してください。

2. Help ボタン

本ソフトウェアの操作説明書を Web ブラウザで表示するためのボタンです。
操作説明書は機能毎に分かれています。Help ボタンをクリックすると機能を選択するためのメニューが表示されます。メニューから機能を選択すると、その機能の操作説明書を表示します。
無償のベースソフトウェアをインストールした時点では以下のメニューが存在します。

Common：本ソフトウェアの基本要素の操作説明書（本書）を表示します。

Device Manager：Device Manager 機能の操作説明書を表示します。
PTZ Control：PTZ Control 機能の操作説明書を表示します。
Auto Framing：Auto Framing 機能の操作説明書を表示します。
Information：Information 機能の操作説明書を表示します。
Setting：動作設定機能の操作説明書を表示します。

有償プラグインのライセンスアクティベーションを行って新しい機能が利用可能となった場合、その機能の操作説明書を表示するためのメニューが追加されます。

3. Information ボタン

ボタンをクリックすると操作画面が Information 画面に切り替わります。
Information 画面では本ソフトウェアのバージョン情報表示や有償プラグインのアクティベーションなどを行うことができます。
機能の詳細は[Help]ボタンのメニューで[Information]を選択したときに表示される Information 機能の操作説明書を参照してください。

4. Setting ボタン

ボタンをクリックすると操作画面が Setting 画面に切り替わります。
Setting 画面では本ソフトウェアの動作設定を行うことができます。
機能の詳細は[Help]ボタンのメニューで[Setting]を選択したときに表示される Setting 機能の操作説明書を参照してください。

管理ツール

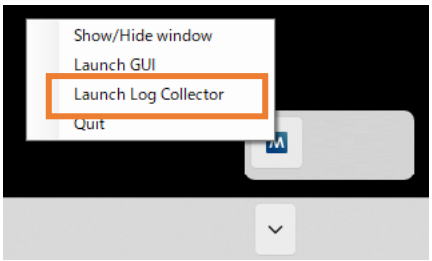
本ソフトウェアの動作ログ取得

本ソフトウェアに同梱されているログ取得ツールを使用して、本ソフトウェアの動作ログと本ソフトウェアがインストールされている PC の情報を取得することができます。本ソフトウェアが正常に起動しない場合の問い合わせ時などにご活用ください。

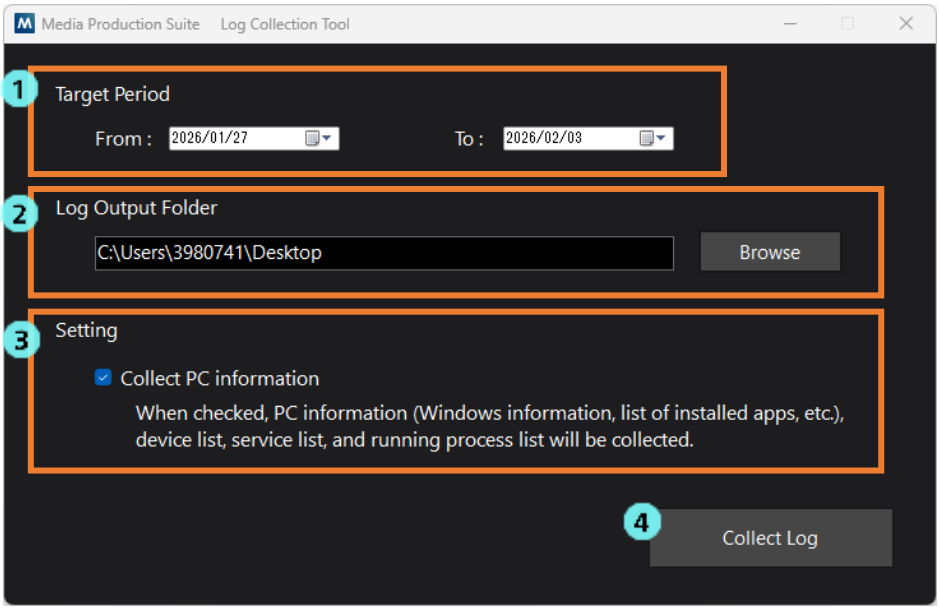
■ログ取得ツールの起動手順

以下の操作でログ取得ツールを起動することができます。

・Windows タスクトレイの本ソフトウェアのアイコンを右クリックしてメニューを表示し、[Launch Log Collector]を選択



■ログ取得ツールの使用手順



1. Target Period 欄の From と To のカレンダーで、どの期間に出力されたログを取得対象にするかを設定します。
2. Log Output Folder 欄の Browse ボタンをクリックして、ログの出力先フォルダーを設定します。
3. Setting 欄の[Collect PC information]を ON にすると、本ソフトウェアがインストールされている PC

の情報も収集します。

収集する情報には以下の内容が含まれます。

・PC 情報

- PC 基本情報（PC 名、Windows アカウント名など）
- Windows 情報（バージョン、言語情報など）
- PC ハードウェア情報（CPU、マザーボード（BIOS 含む）、GPU、メモリ、ストレージ、ネットワーク）
- インストールされているアプリ一覧
- ユーザー環境変数とシステム環境変数

・デバイス一覧

・サービス一覧

・実行中のプロセス一覧

4. Collect Log ボタンをクリックすると、zip ファイル化されたログファイルが出力されます。

ログファイルの名称は　MPS_Log_[YYYYMMDD]_[HHMMSS].zip になります。

※[YYYYMMDD]の部分はログ収集実行時の日付、[HHMMSS]の部分はログ収集実行時の時刻です。

本製品に関するソフトウェア情報

本ソフトウェアが使用している OSS のライセンス情報は以下のファイルに記載しています。
C:¥Program Files¥Panasonic¥MediaProductionSuite¥OSS_License.pdf